



News Release

BELLSYSTEM24

2011年4月1日

各位

株式会社ベルシステム24

<http://www.bell24.co.jp/>

代表執行役社長 矢原 史朗

中国大連にBPO独資子会社を設立 ～グローバル展開の推進拠点として高度BPOセンター化を目指す～

株式会社ベルシステム24(代表執行役社長:矢原 史朗、本社:東京都渋谷区)は、このたび中国大連市にBPO事業拠点、貝尔系統二十四(大連)科技有限公司(英語社名: BELLSYSTEM24 Dalian Inc.、以下 BELL China)を開設いたします。当初は弊社内間接業務のオフショア移管からスタート、続いて現在2,000社の国内顧客企業へのオフショア提案を積極化し、将来的にはグローバル展開の推進拠点として高度BPOセンター化を目指します。

1. 開設の趣旨

弊社は現在、コールセンター事業を展開する国内最大手企業として、国内30拠点・約3万名のコミュニケーターを擁し、約3,000社の顧客企業からコールセンター業務を中心に数々の業務受託を行っております。

コールセンター業務の運営コストの低減のみならず、高まる国内企業のアウトソーシング需要に応えるためにも、グローバル化に対応したオフショア展開を行うことはもはや現実的な経営課題のひとつであります。

今般、将来的なグローバル展開の足掛かりとして、多くの日本企業が既に進出を果たし、また日本語人材が豊富な中国大連市に海外拠点を開設する運びといたしました。

2. 事業内容

当面の事業展開は、次の2つのステップで実施します。

【社内間接業務の移管】

まずは(株)ベルシステム24における、経理業務とIT関連業務を中心とした社内間接業務の一部を BELL China に移管します。これにより、弊社におけるさらなる経費削減の実現はもとより、移管業務を標準化して実際に運営することにより、顧客企業に対するオフショア提案力の基盤構築を同時に実現いたします。

なお(株)ベルシステム24はこの業務移管により、5年間で5億円以上の間接経費削減を目指します。

【国内顧客企業へのオフショア提案】

BELL China は当初の25名体制からスタートし、開設後2年以内に100名体制、さらに需要に応じて数年以内には数百名体制に業容を拡大する見通しです。社内間接業務の移管に加えて、弊社の既存の顧客企業に対するオフショア提案、すなわち各顧客企業から受託する国内コールセンター業務の周辺機能のBPO受託提案を積極化します。また、今般の震災に学び、企業のBCP(Business Continuity Plan)対応を含むオフショア提案も視野に入れ進めてまいります。

開設する BELL China のオフィスは、こうした事業展開を前提として、従業員導線と顧客導線を切り分け、「ショールーム」として顧客企業にオフショアBPOを体感いただける機能を完備しました。

また近隣には20数校の大学が存在し、その大半が日本語専門学科を有しているなど、立地環境として従業員の雇用機会にも恵まれており、顧客企業の希望に応じて各校の授業風景の視察のアレンジなども実施する予定です。

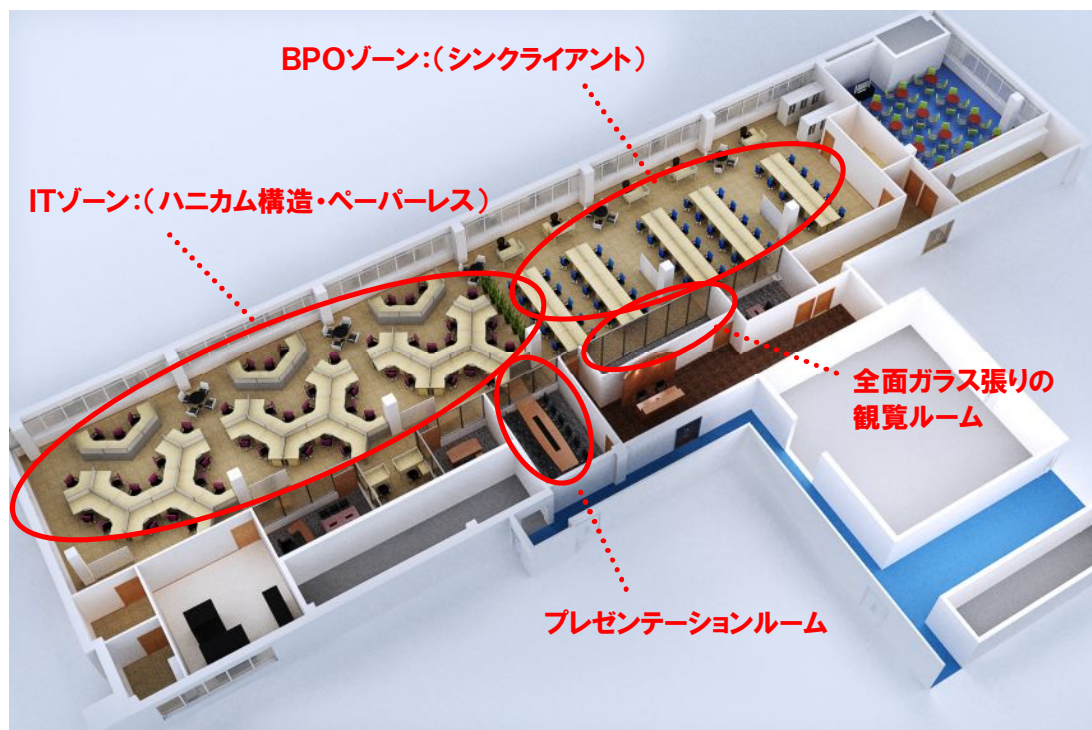
3. 将来展開・・・グローバル展開の拠点として

今般の中国大連市進出による独資拠点開設を機に、将来的にはアジア広域への展開を目指します。これまで国内で培ったコールセンター運営のノウハウと、先端のIT技術とを駆使し、国内企業の業務プロセスをエンド・ツー・エンドで支援する体制を整備します。

4. BELL China 概要

- | | |
|----------|--|
| (1) 商号 | 貝尔系統二十四(大連)科技有限公司(BELLSYSTEM24 Dalian Inc.) |
| (2) 資本金 | 20百万円 (株)ベルシステム24 100%子会社) |
| (3) 所在地 | 大連市ソフトウェアパーク東路40号 |
| (4) 延床面積 | 1144.59㎡ |
| (4) 代表者 | 総経理 辰巳 太郎 |
| (5) 従業員 | 25名 (開業時、うち日本より1名駐在) |
| (6) 事業内容 | 間接業務受託(経理査証・与信・モニタリング 等)、IT関連業務受託(データ入力・保守・ソフトウェア開発・システム開発 等)、顧客企業のBPO業務全般 |

5. BELL China オフィス概観(模型)



以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ベルシステム24 コミュニケーション室

TEL: 03-6893-9827(直通) / E-mail: pr@bell24.co.jp